

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 6 区分  
【発行日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)

【公開番号】特開 2000-203671 (P2000-203671A)  
【公開日】平成 12 年 7 月 25 日 (2000.7.25)  
【出願番号】特願 平 11-302369  
【国際特許分類第 7 版】

B 6 5 D 83/76

B 0 5 B 11/00

【F I】

B 6 5 D 83/00 K

B 0 5 B 11/00 1 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 10 月 14 日 (2003.10.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

噴霧器の前端がノズルで終端する排出通路を備えるポンプ本体と、それに連結して噴霧器を小出しにされるべき液体の容器に取付ける栓体手段と、前記ノズルに取付けられて、オンとオフ位置の間で軸方向の移動なしに前記通路と共軸である中心軸の回りを回転し、該中心軸上に排出オリフィスを備え、また第 1 の対向する一对の平坦壁と、第 2 の対向する一对の平坦壁とを備え、前記第 1 と第 2 の一对の平坦壁が壁の対向縁に沿って接合されて、前記中心軸に沿う方向に伸びる長方形の本体の 4 つの隅部が形成されたノズルキャップとからなるトリガー作動ポンプ式噴霧器において、

- ・前記キャップと一体の少なくとも 1 つの隆起部が前記キャップの後端から前端の方に伸び、また前記中心軸に対し半径方向の外側方向に伸びる前記隅部の 1 つに沿って配設され、
- ・前記少なくとも 1 つの隆起部が前記後端から前端に向って高さが次第に減少し、
- ・前記少なくとも 1 つの隆起部がリミットストップを提供して、該リミットストップに対して作業者の指が前記一方向もしくは他方向に回転する際に支承するように前記第 1 の対向する一对の壁もしくは第 2 の対向する一对の壁を掴む作業者により前記中心軸の回りで一方向もしくは他方向に回転中に前記少なくとも 1 つの隆起部が前記ノズルキャップ上の滑り防止手段を形成することを特徴とするトリガー作動ポンプ式噴霧器。

【請求項 2】

前記 1 つの隆起部が前記隅部の各々に沿って配設され、各隆起部がリミットストップを提供し、該リミットストップに対して作業者の指が前記一方向もしくは他方向への回転に際して支承することを特徴とする請求項 1 記載のトリガー作動ポンプ式噴霧器。

【請求項 3】

前記ノズルキャップが前記隆起部と一体になった前記キャップの後端で前記壁の半径方向の外側方向に伸びる周辺の矩形フランジをさらに備え、前記フランジが前記一对の第 1 もしくは第 2 の壁の掴む時の前記キャップの軸方向におけるリミットストップを形成することを特徴とする請求項 1 記載のトリガー作動ポンプ式噴霧器。